

2026年3月期第2四半期 決算説明会

2025年11月14日
株式会社日本ケアサプライ
東証スタンダード 2393

1 決算ハイライト(2026年3月期第2四半期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

1 決算ハイライト(2026年3月期第2四半期決算)

2 今期の取組みと通期業績予想

長期ビジョンに掲げた方針に基づき 福祉用具サービスの更なる強化

高齢者生活支援サービスは、社会の課題に的確に対応

■福祉用具サービス

- ・レンタル資産の積極的な投入および、効率的な運用を図る
- ・介護施設への商品ラインアップを強化、販売・サービスを拡販

■高齢者生活支援サービス

- ・介護事業者向けECサイトや食事サービスの受注拡大を強化
- ・「バランス弁当」では、今後の事業拡大に向け、各種施策の検討やプロモーション活動を推進

■その他

- ・拠点展開では、都市部を中心に新規開設や既存拠点の大型化に向けた移転を推進
- ・女性活躍推進に関する活動や人的資本投資を継続

2026年3月期第2四半期の決算ハイライト(前年同期比)



福祉用具サービスが堅調に推移し、前年同期比は増収増益

(百万円)

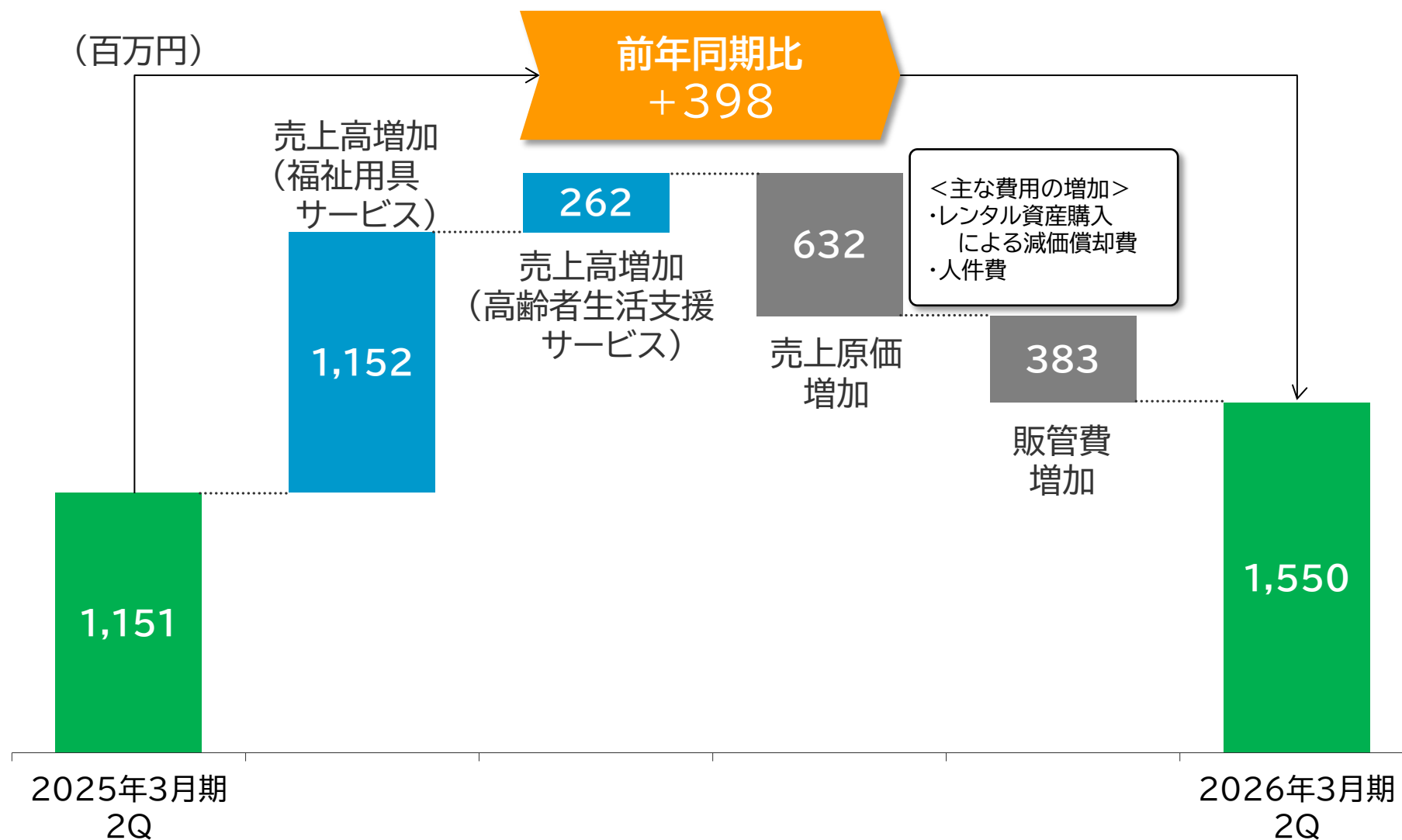
	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	15,673	17,088	1,414	+9.0%
営業利益	1,151	1,550	398	+34.6%
経常利益	1,170	1,570	400	+34.2%
純利益※1	776	1,046	270	+34.8%
EBITDA※2	4,624	5,179	554	+12.0%

※1 親会社株主に帰属する当期純利益

※2 経常利益+支払利息+減価償却費

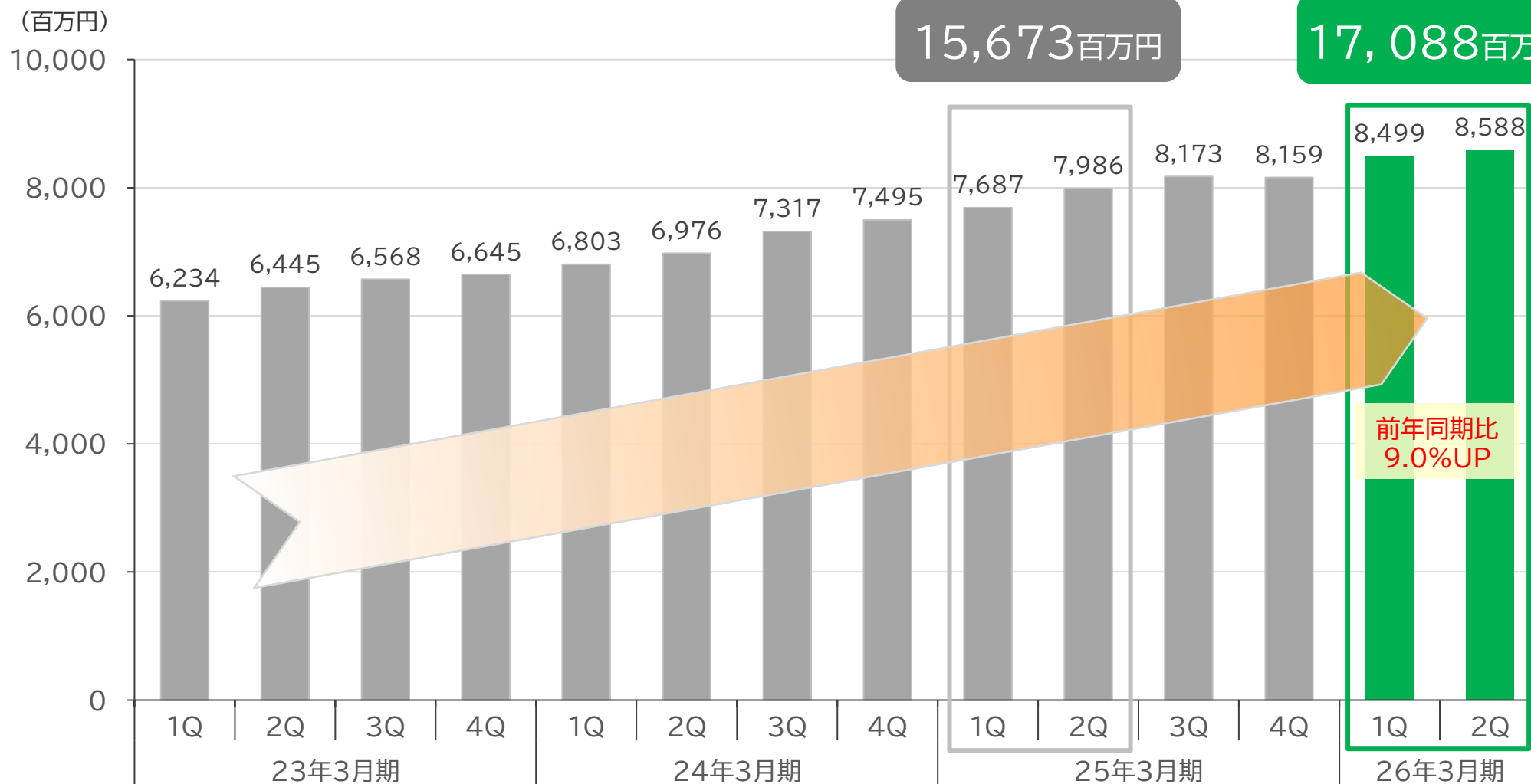
連結営業利益の増減要因(前年同期比)

増収効果により増益



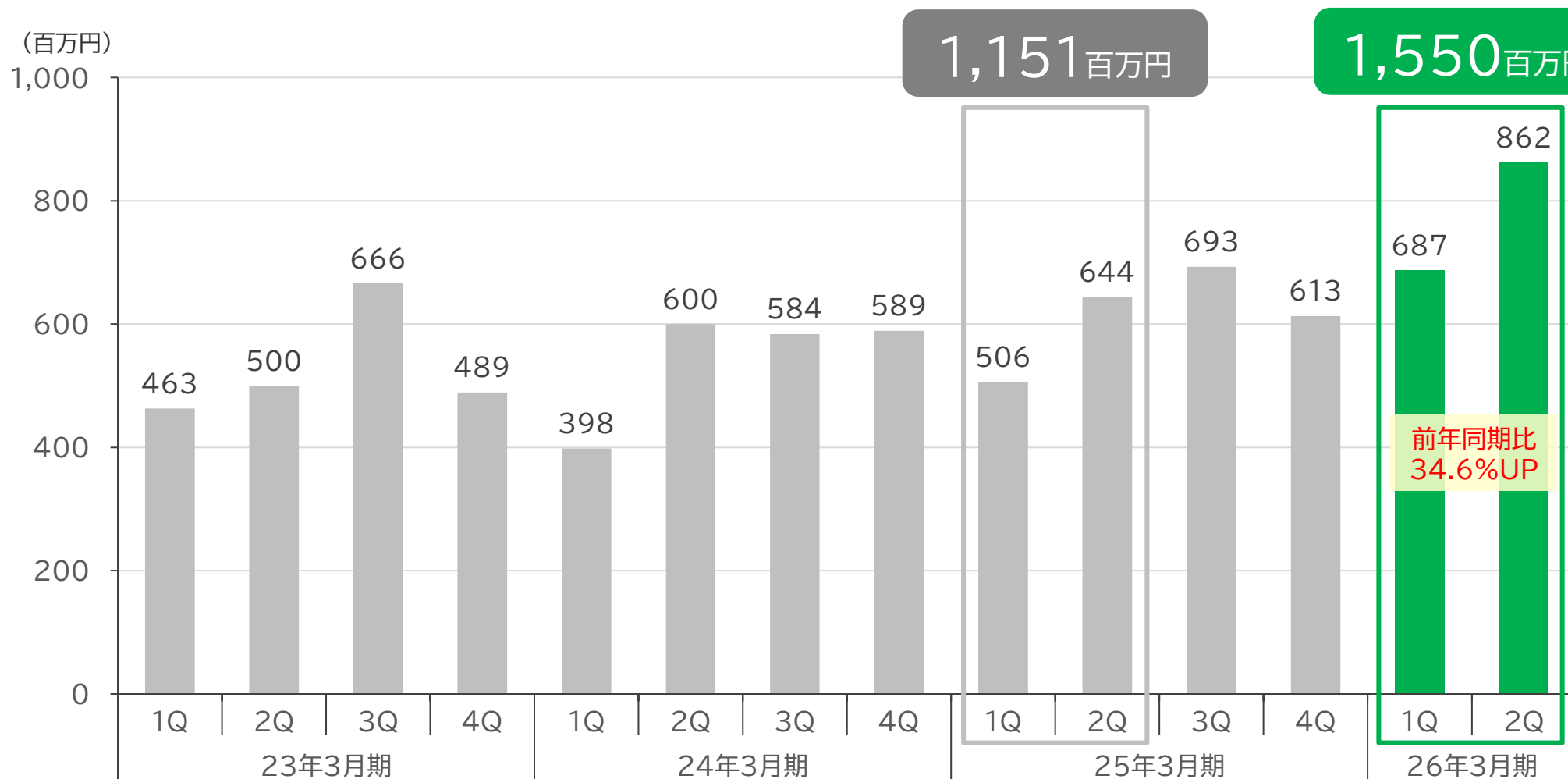
連結売上高の推移(四半期)

売上高は10年連続で過去最高を更新



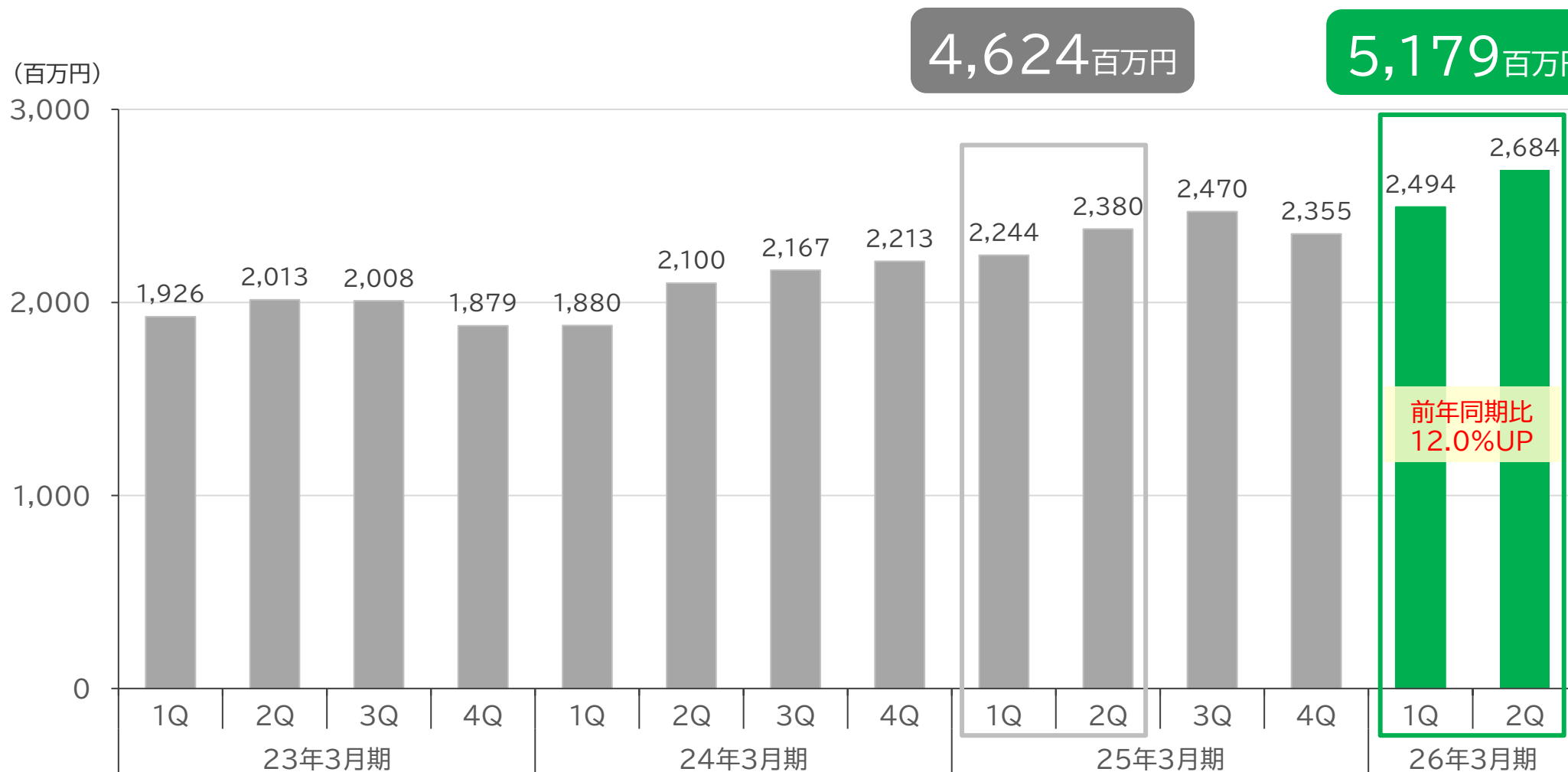
連結営業利益の推移(四半期)

継続して安定した利益を確保



EBITDA※の推移

EBITDAの推移は着実に向上



※経常利益＋支払利息＋減価償却費

連結貸借対照表(前期末比)

資産では、業容拡大により売掛債権が増加
負債では、レンタル資産購入未払金が増加

(百万円)

	2025年3月 期末	2026年3月 第2四半期末	増減額
流動資産	5,790	5,843	53
固定資産	20,922	20,886	▲35
(うちレンタル資産)	15,148	15,119	▲28
資産合計	26,712	26,730	18
負債合計	9,194	9,331	137
純資産合計	17,518	17,399	▲119
負債純資産合計	26,712	26,730	18

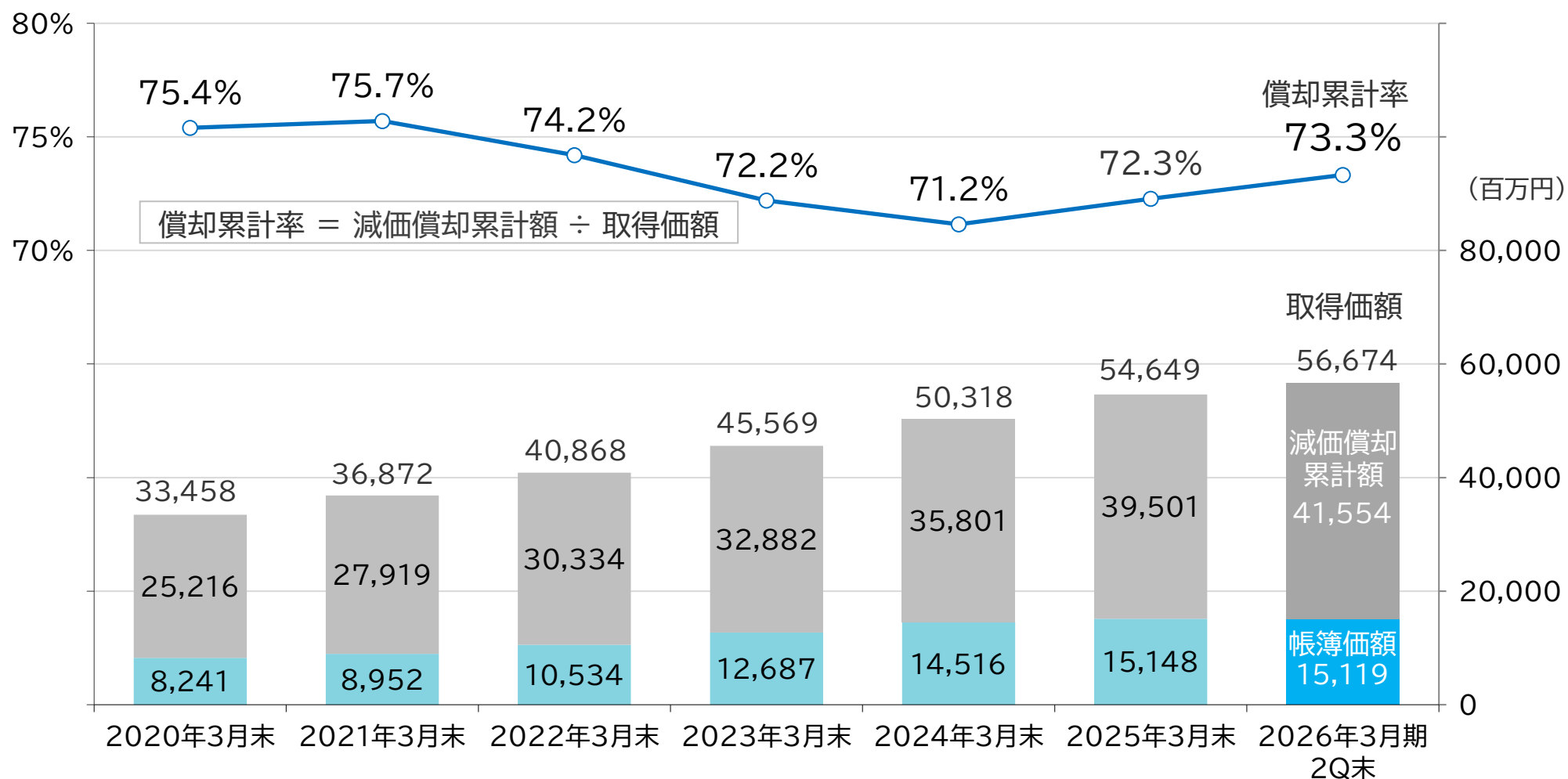
連結キャッシュ・フロー(前年同期比)

(百万円)

	2025年3月期 第2四半期累計	2026年3月期 第2四半期累計	増減額
現金及び現金同等物の期首残高	711	740	28
営業活動によるキャッシュ・フロー	53	1,459	1,405
(うち減価償却費)	3,448	3,599	150
(うちレンタル資産の取得による支出)	▲4,080	▲3,073	1,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲743	▲310	432
財務活動によるキャッシュ・フロー	661	▲1,237	▲1,898
現金及び現金同等物の期末残高	683	651	▲31

レンタル資産の保有状況の推移

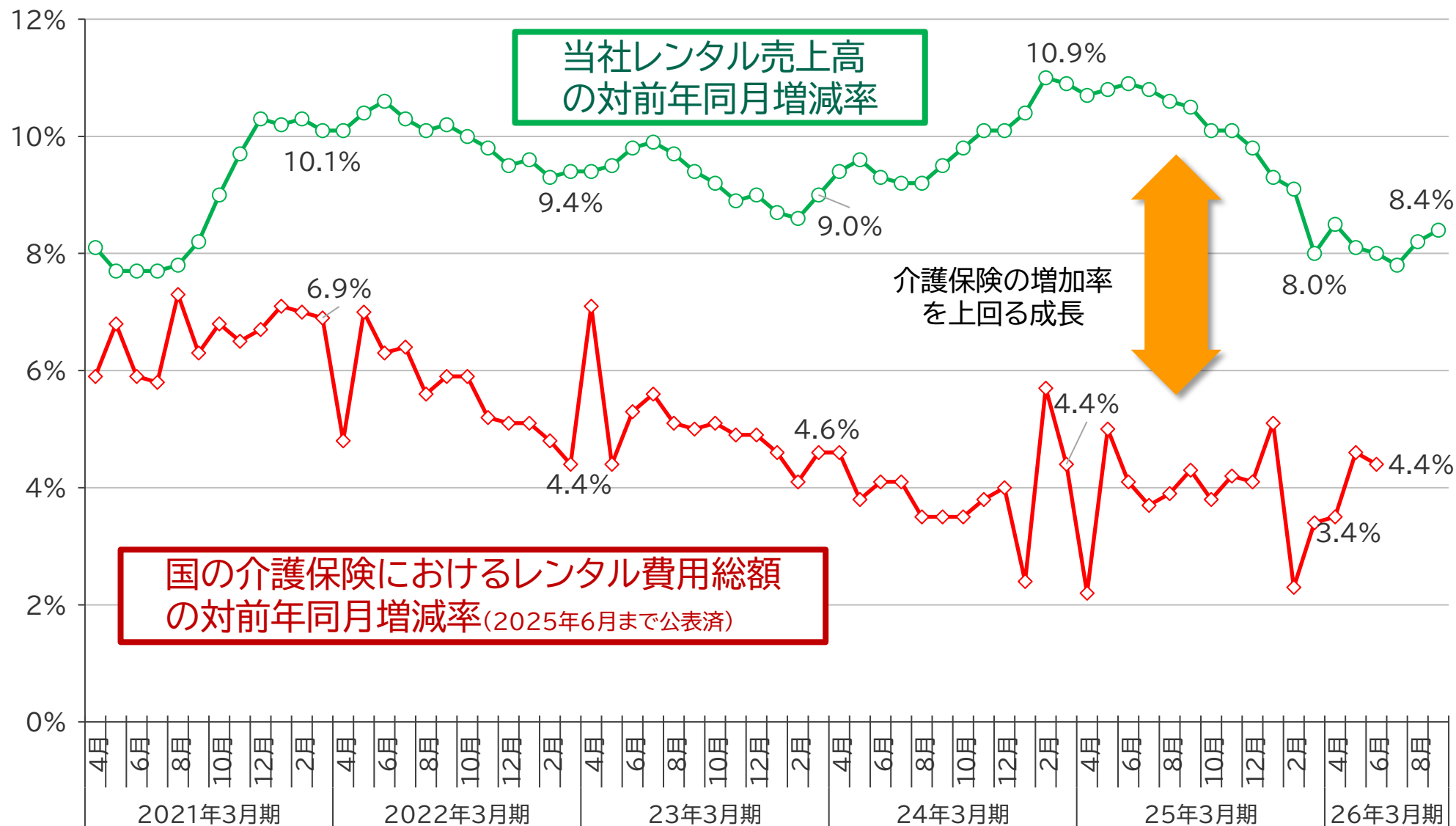
レンタル資産の効率的な運用の結果、償却累計率が上昇し
利益や営業キャッシュ・フローが改善しやすい状況



1 決算ハイライト(2026年3月期第2四半期決算)

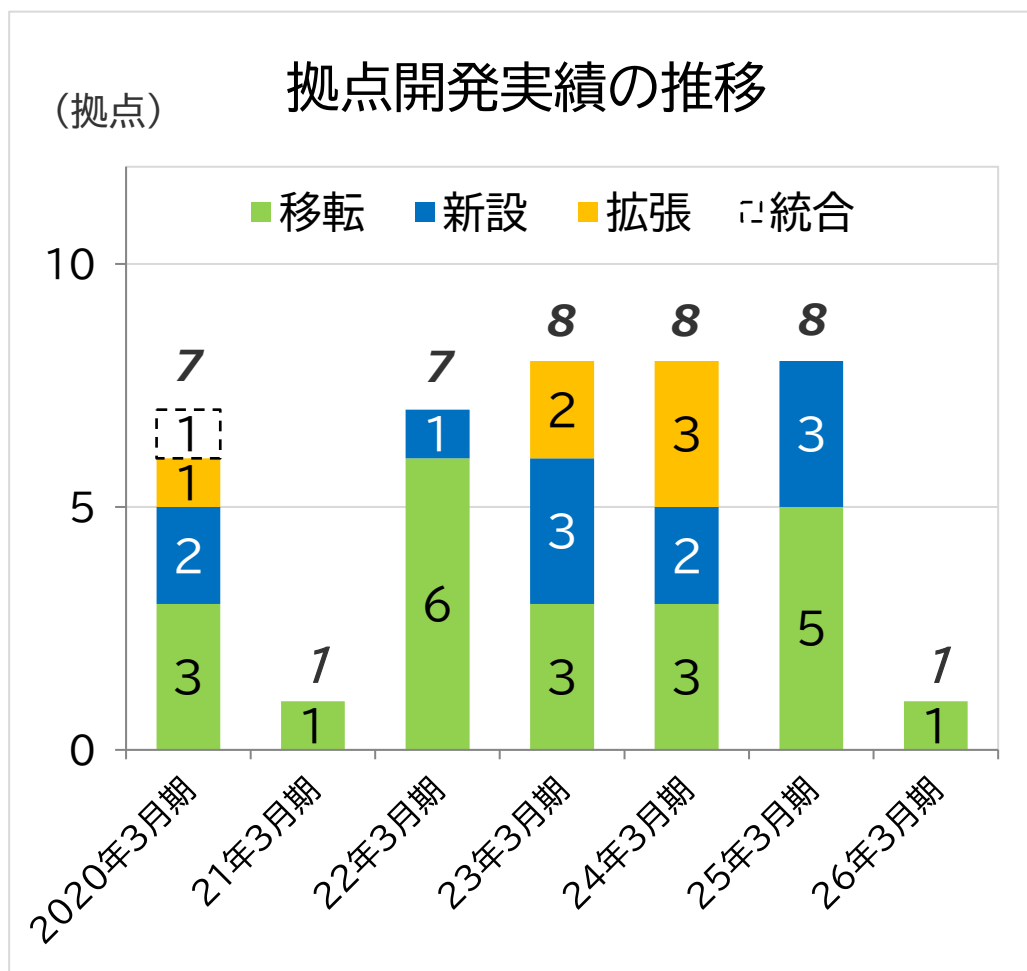
2 今期の取組みと通期業績予想

介護保険の福祉用具レンタル需要を上回る成長率



出所: (公)国民健康保険中央会資料より当社作成

後期高齢者が増加する都市部を中心に新規開設や
既存拠点大型化の方針のもと移転を推進

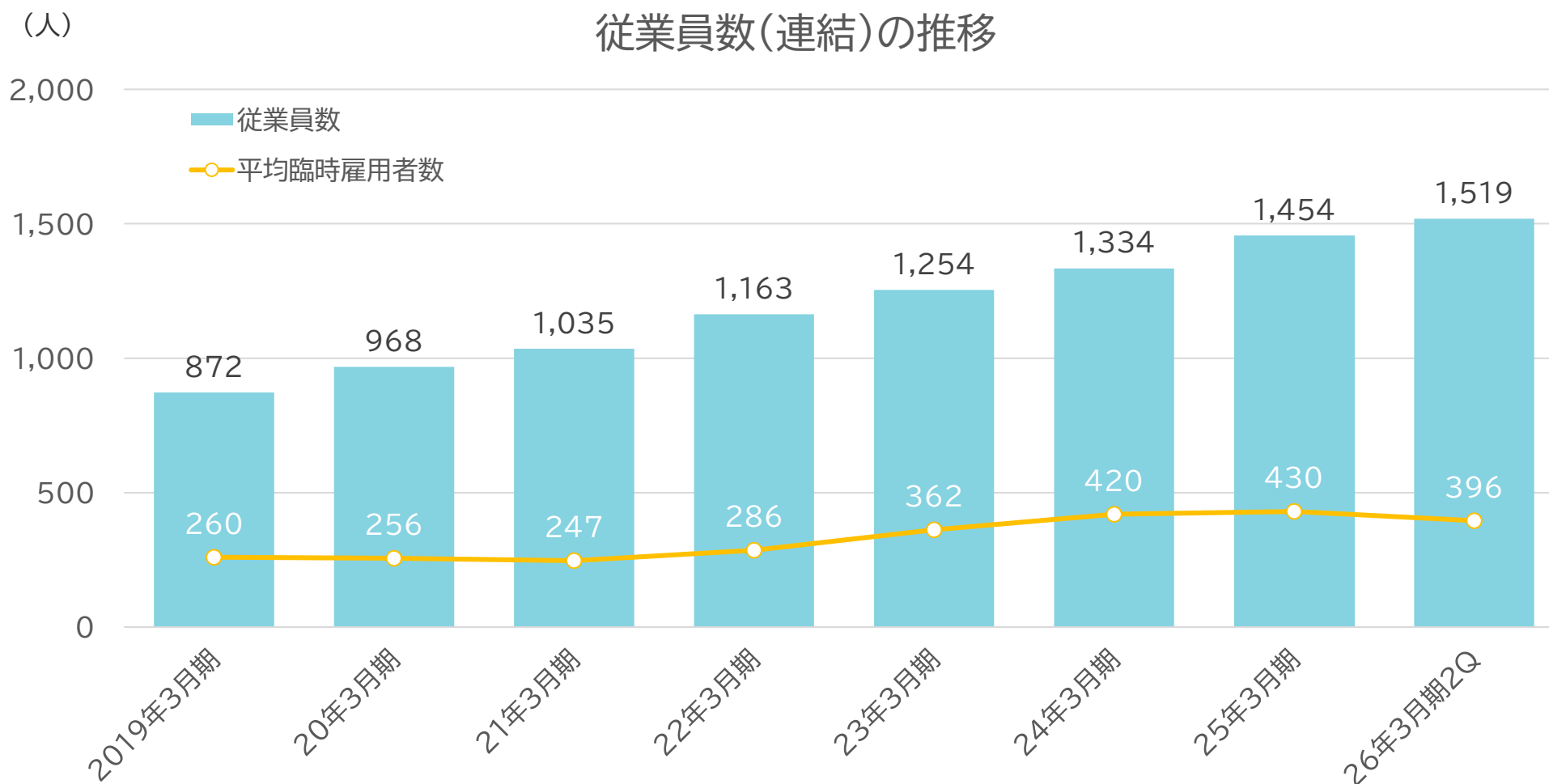


【2026年3月期の拠点開発】

2025年	6月	静岡営業所	移転
-------	----	-------	----

2025年9月末時点の営業拠点数 97か所

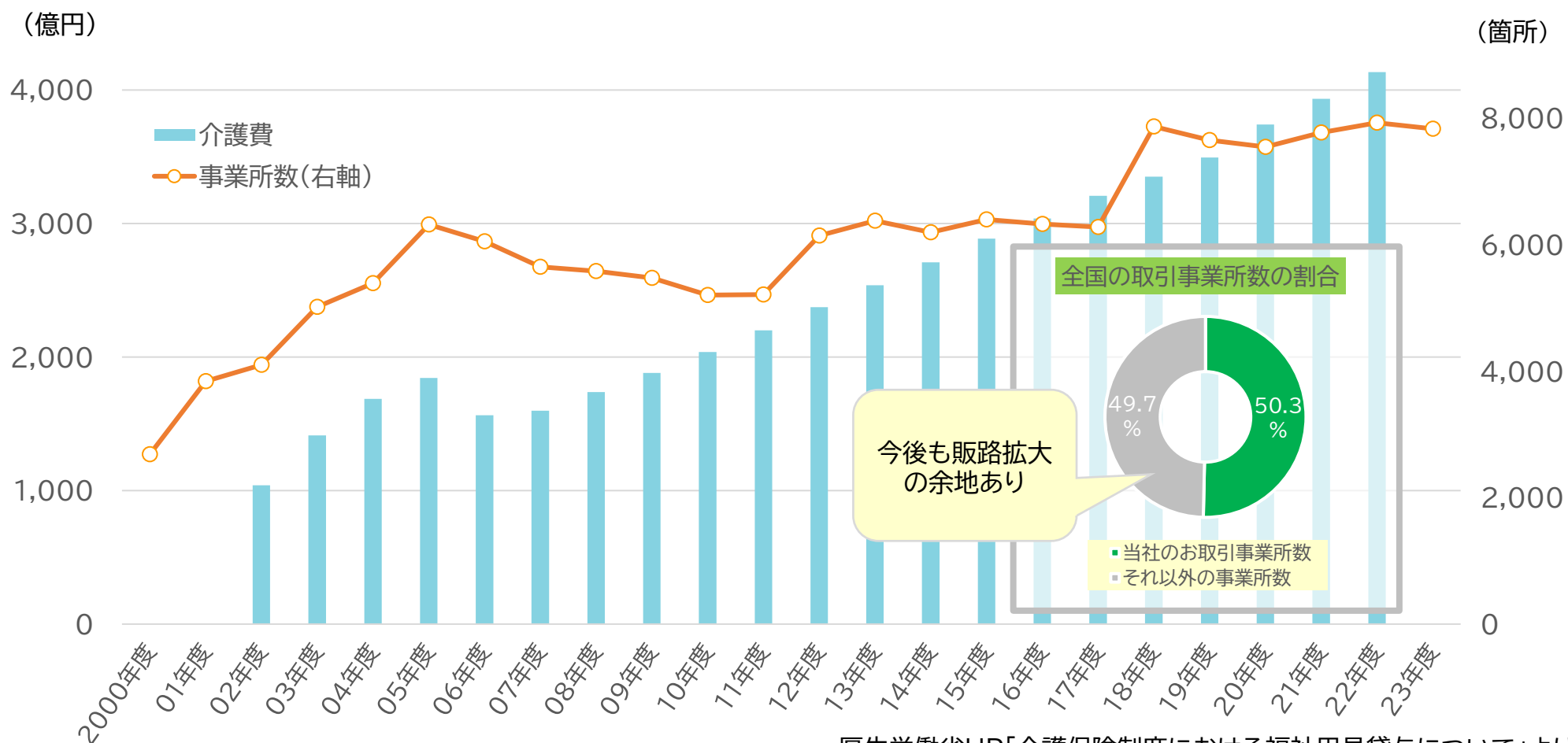
営業拠点人員の採用や人材育成の強化を推進



当社有価証券報告書より

福祉用具貸与の介護費・事業所数の推移

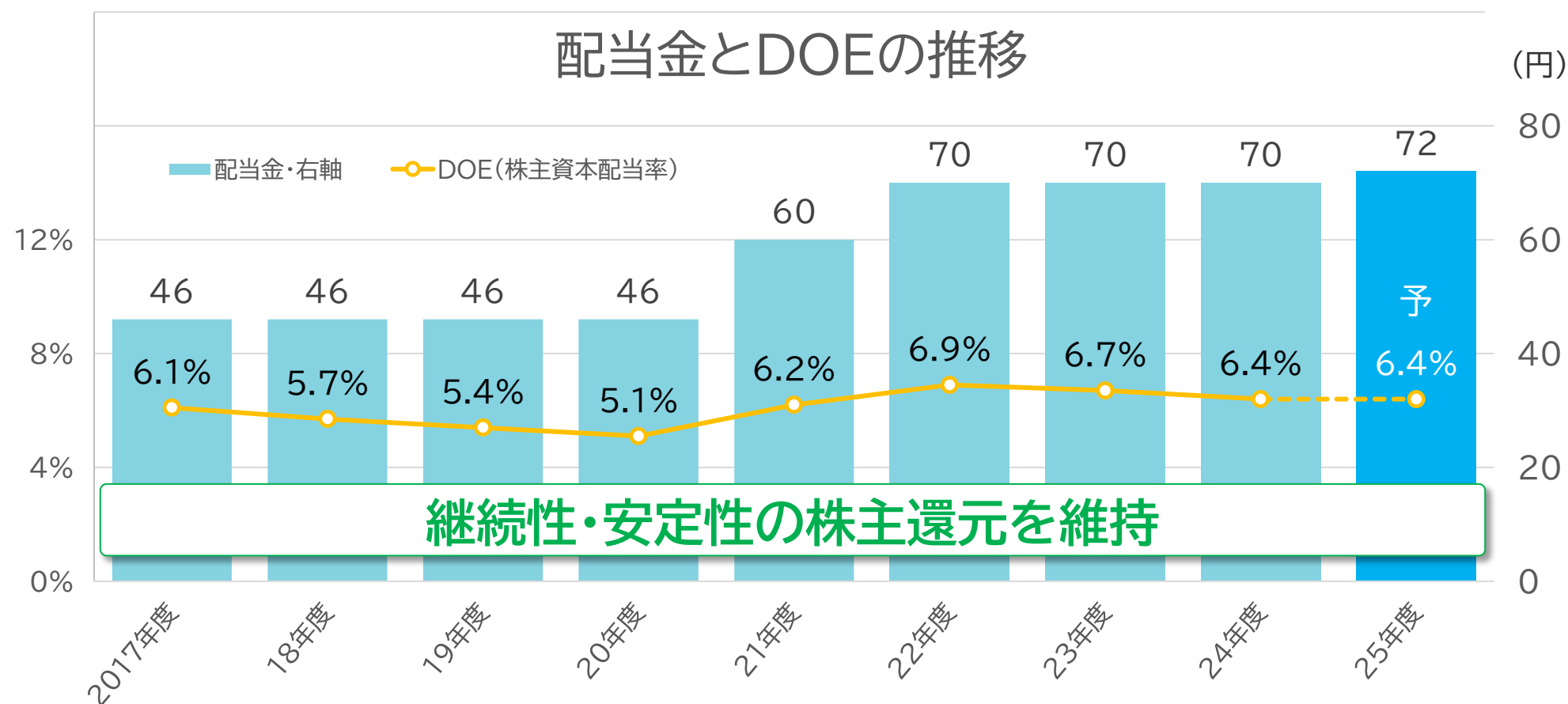
介護保険制度における福祉用具貸与の介護費は、
介護従事者の人手不足もあり、今後も増加すると予測される



厚生労働省HP「介護保険制度における福祉用具貸与について」より

株主還元方針

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要な施策として位置付け、累進配当制度を導入及びDOE(株主資本配当率)6%を下限とする目標に基づき、配当を決定することを基本方針としております。



長期ビジョン「けあさぷVISION2040」を策定、多様化するニーズに応え、ステークホルダーとの協働により、新たな価値創造に取り組む

東証からの要請内容

現状分析

- ・自社の資本コストや資本収益性を的確に把握
- ・その内容や市場評価に関して、取締役会で現状を分析・評価

計画策定・開示

- ・改善に向けた方針や目標・計画期間、具体的な取り組みを取締役会で検討・策定
- ・その内容について、現状評価とあわせて、投資者にわかりやすく開示

取り組みの実行

- ・計画に基づき、資本コストや株価を意識した経営を推進
- ・開示をベースとして、投資者との積極的な対話を実施

当社の対応状況

- ・資本コストは5～6%と認識
- ・株価はTOPIX上回る水準、PBRは1.0倍以上の水準
- ・福祉用具レンタル市場を上回る成長を維持
- ・流通株式比率は、上場維持基準をクリア

- ・長期ビジョンに向けた持続可能な成長を目指す
- ・2030年度までの目標で事業拡大イメージやキャッシュ・アロケーションおよび財務戦略
- ・株主還元に加え、サステナビリティ重点課題を説明会などで詳しく説明

- ・「収益性」「資本効率」の更なる改善を推進
- ・株式売買高増加へ向け、最低投資金額引き下げなどを検討

*2025年6月26日公表

2026年3月期 連結業績予想進捗



(百万円)

	2026年3月期 通期業績予想※1	2026年3月期 第2四半期実績	予想比 進捗率
売上高	34,500	17,088	49.5%
営業利益	2,650	1,550	58.5%
経常利益	2,650	1,570	59.3%
純利益※2	1,900	1,046	55.1%
1株当たり 当期純利益(円)	122.28	67.37	-

※1 2025年5月8日発表

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

外部環境の認識

高齢者人口増、労働者人口の減少

医療・介護費の増加

団塊世代ジュニアの高齢化

都市部と地方との格差が拡大

独居(特に男性)世帯の増加

中国などアジア地域の高齢化進展



ニーズの多様化

自立した生活を望む高齢者の増加

地域の実情に合わせた介護保険外サービスの創出

医療・介護の予防意識向上、生活習慣の改善

SDGsの次は、SWGs



テクノロジーの発展

デジタル技術の進歩

技術革新が産業構造に影響

脱炭素社会の実現による生活環境の変化

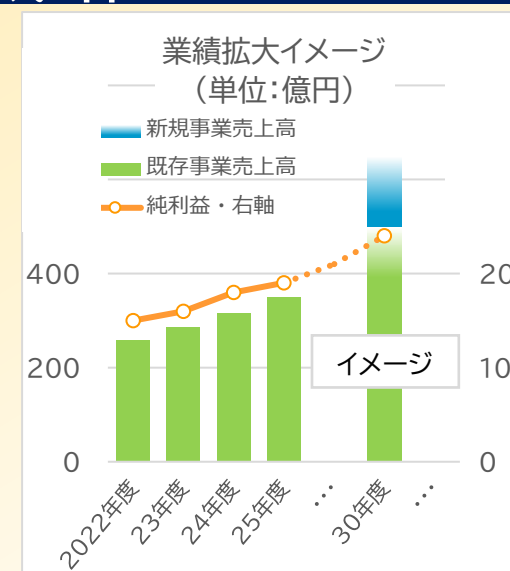
2030年に向けたキャッシュ・アロケーションと財務戦略

キャッシュ・アロケーション

キャッシュイン	キャッシュアウト
EBITDA	株主還元
	成長投資 既存事業
資金調達	新規事業 (M&A等)
	人的投資

財務戦略

業績拡大	売上高のオーガニック成長6%以上 当期純利益はCAGR5%
M&A	業界水平統合、高齢者支援サービス事業の基盤整備
資本コスト水準	エクイティスプレッド5%以上
配当政策	累進配当制導入、DOE6%を下限
財務レバレッジ	借入金を活用
PBR/PER	分析と改善策への取組み



<参考>サステナビリティへの取り組み（2030年度目標）

当社は、従来の資源を有効活用する循環型ビジネスである福祉用レンタルビジネスの推進に加え、以下の「サステナビリティに関する基本方針」に基づき、重点課題を継続的に取り組みます。

～サステナビリティに関する基本方針～

私たちは、社是である「健康長寿社会への貢献」を存在意義と定め、ステークホルダーの皆様との協働により、豊かな暮らしに役立つ商品やサービスの提供によって、社会課題の解決に挑みます。

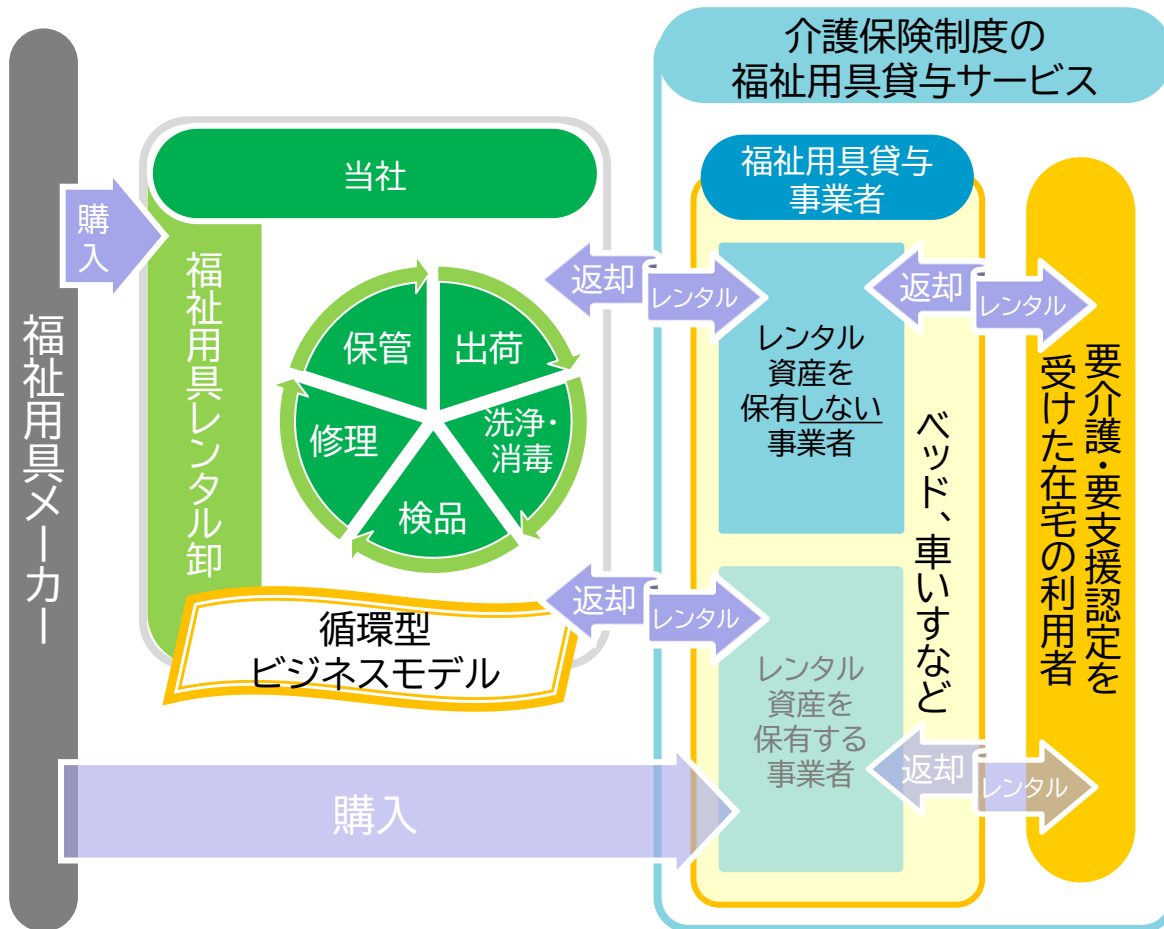
そして、新しい価値の創造と健全な事業活動を通じて、中長期的な企業価値向上を追求し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指します。

重点課題	目標*
Environment 環境	・GHG排出量：政府目標に準じて半減 ・売上高エネルギー使用量比率(kl/億円) ・売上高廃棄物総量比率(t/億円)       ：省エネ法の努力義務及び目標に準じて、毎年1%程度削減
Social 社会	・重大労働災害件数：0件 ・人材開発投資額(外注費用)：倍増(28千円/人) ・有給休暇取得率：70% ・育休取得率、復帰率：100%         
Governance 企業統治	・コンプライアンス違反件数：0件 ・情報セキュリティ事故件数：0件 ・個人情報漏洩件数：0件 

※目標値は、2022年度+αを基準に2030年度目標を表示しております。新たな目標値策定の際は、内容を更新します。

＜参考＞福祉用具サービス(ビジネスモデル図)

当社が手掛ける福祉用具レンタル卸事業は、介護保険の対象となるベッド、車いす等の福祉用具を地域の「福祉用具貸与事業者」(以下、事業者)にレンタルし、さらに「事業者」が自宅で暮らす「利用者」に貸出します。使用後返却された福祉用具は、当社が洗浄・消毒、検品・修理して、再び「事業者」に貸出すリサイクルシステムです。資源を有効利用する循環型のビジネスモデルであり、当社が先駆けとなってこの仕組みを確立しました。

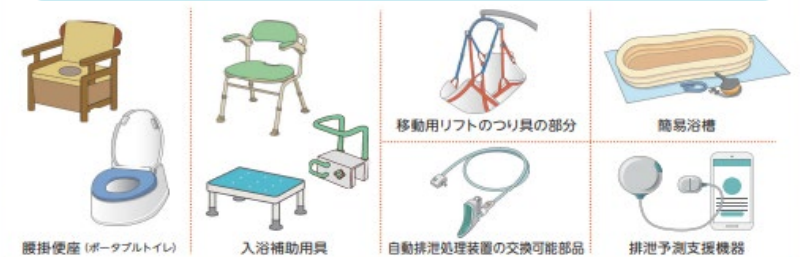


介護保険でレンタル対象の 福祉用具13種目



2024年4月からレンタル対象の福祉用具のうち3種目(スロープ・歩
行者・歩行補助杖の一部)でレンタル・購入の選択制を導入

介護保険で購入対象の 福祉用具6種目



▲介護保険対象の福祉用具イメージ図

<参考> 高齢者生活支援サービス(食事サービス)

病院や介護施設の調理業務を省力化
おいしさでご利用者に笑顔をお届け

- ・「バランス弁当」の商品ラインアップは、
160種以上と充実
- ・事業拡大を見据えた物流倉庫の設置し、
配送コストを削減



▲メニューの一例
「ひれかつ&オムレツ」



▲「バランス弁当」カタログ

タレントの由美かおるさんと
当社社長の平松が対談

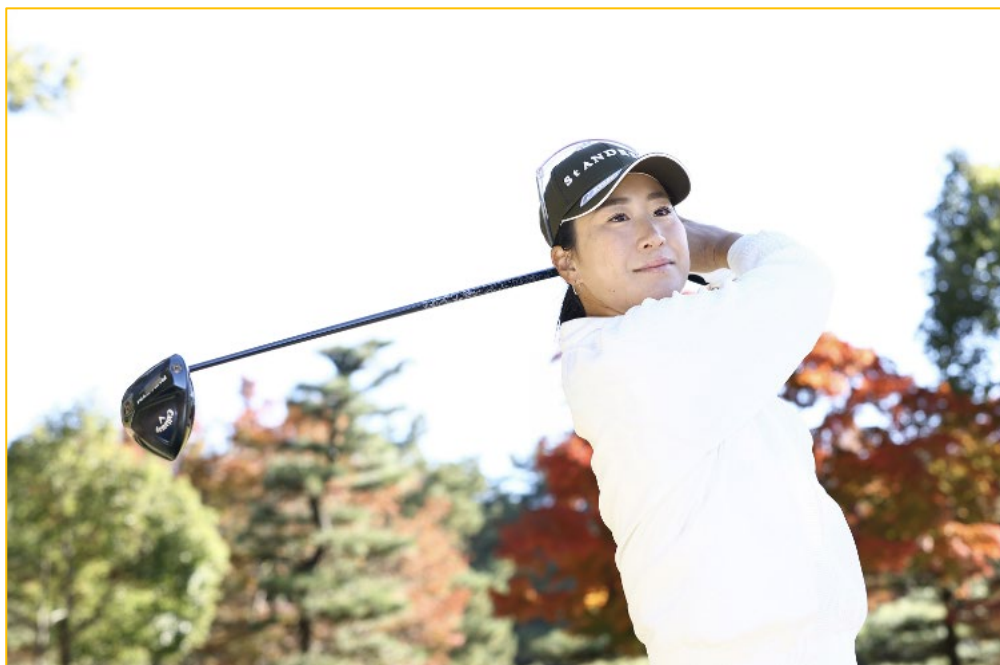


▲当社ホームページより

「バランス弁当」のファンという由美かおる
さんを当社へお招きし、食生活や健康維持
について、当社社長との対談が実現

プロゴルファーの木戸 愛(きど めぐみ)選手と所属契約を締結

大会では、当社のロゴを付けたキャディバッグや帽子などを使用するほか、当社が開催するイベントや広告活動へのご協力を予定しております。
今後のさらなる活躍を支援してまいります。



<主な経歴>

- ・2008年 プロテスト合格
- ・2009年 ステップアップツアー「マルナカレディース
オリーブカップ」優勝
- ・2012年 「サマンサタバサガールズコレクション
・レディーストーナメント」初優勝
- ・2012～19年 8年間シード権を獲得
- ・2025年 「資生堂・JAL レディス」2位
「CAT Ladies」2位タイ
「PLAY OF THE MONTH(7月度)」
メルセデス・ランキング 41位(暫定)

▲木戸 愛 選手

<参考> 介護事業者への支援

介護サービスの質の向上・効率化 グリーンケア フォーラム プレミアム

point 1 介護サービス事業者向け 法定研修

高齢者虐待、身体拘束、認知症対応を含む、運営基準で実施が義務化されているすべてを網羅！
※居宅介護支援の更新研修は含んでおりません。

point 2 オンデマンドスキルアップセミナー

運営指導対策・医療 DX・カスタマーハラスメント対策 etc...
最新情報が100本以上！

point 3 業務効率化 支援ツール

年間研修計画作成支援、状態像マトリクスツール、
受講証明、実施チェックリスト etc...
業務効率アップに役立つツールが満載！
設置された委員会をご支援いたします！

グリーンケア フォーラム
プレミアムプラン開始！！
介護サービスの質向上と効率化をお手伝いします！

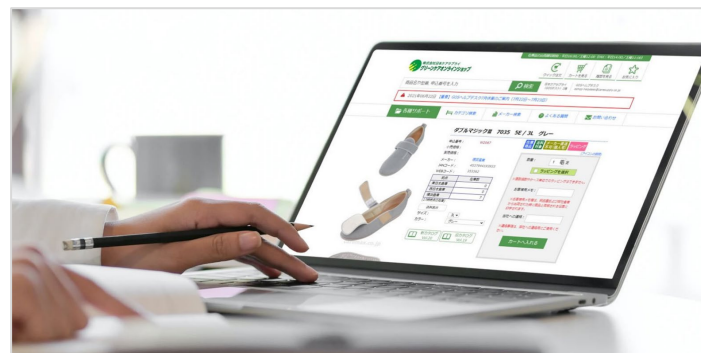


GREEN
CARE
FORUM

・法定研修、オンデマンドのスキルアップセミナー、業務効率化支援ツールを有償にて提供

厳選した生活関連商品を販売 グリーンケア オンラインショップ

- ・20万アイテムを超える充実した品揃え
- ・在庫商品は、平日16時までのご注文で当日出荷
- ・ヘルプデスクが丁寧にサポート



▲注文画面
のイメージ

▼問合せ対応
のイメージ



<参考> 高齢者生活支援サービス(ALSOKとの取組み他)

株主のALSOKと相互の拠点網や
顧客基盤を活用し拡販を推進



<施設向け家具>



<バリアフリー商材>

▲施設向け商材の一例

ご自宅にお住いの高齢者の
おむつ漏れをゼロにしたい

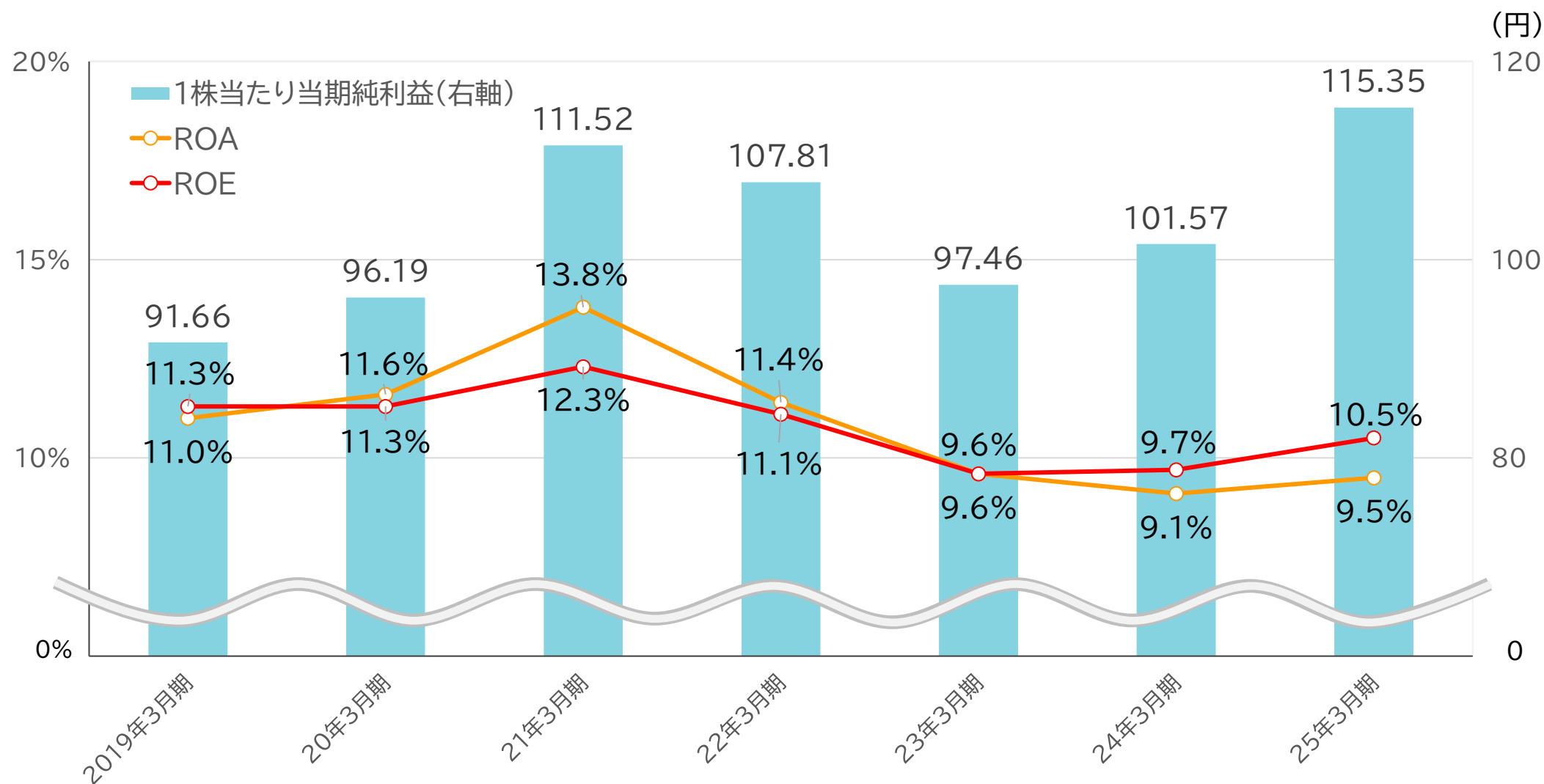
最適なおむつとモレない安心感を・・・



- ・メーカーの専門家によるおむつ選定や
フィッティングでおむつ漏れを改善
- ・購入前におむつの試供品が利用可能
- ・メーカーからご利用者宅へ直送のため
買い物の手間削減

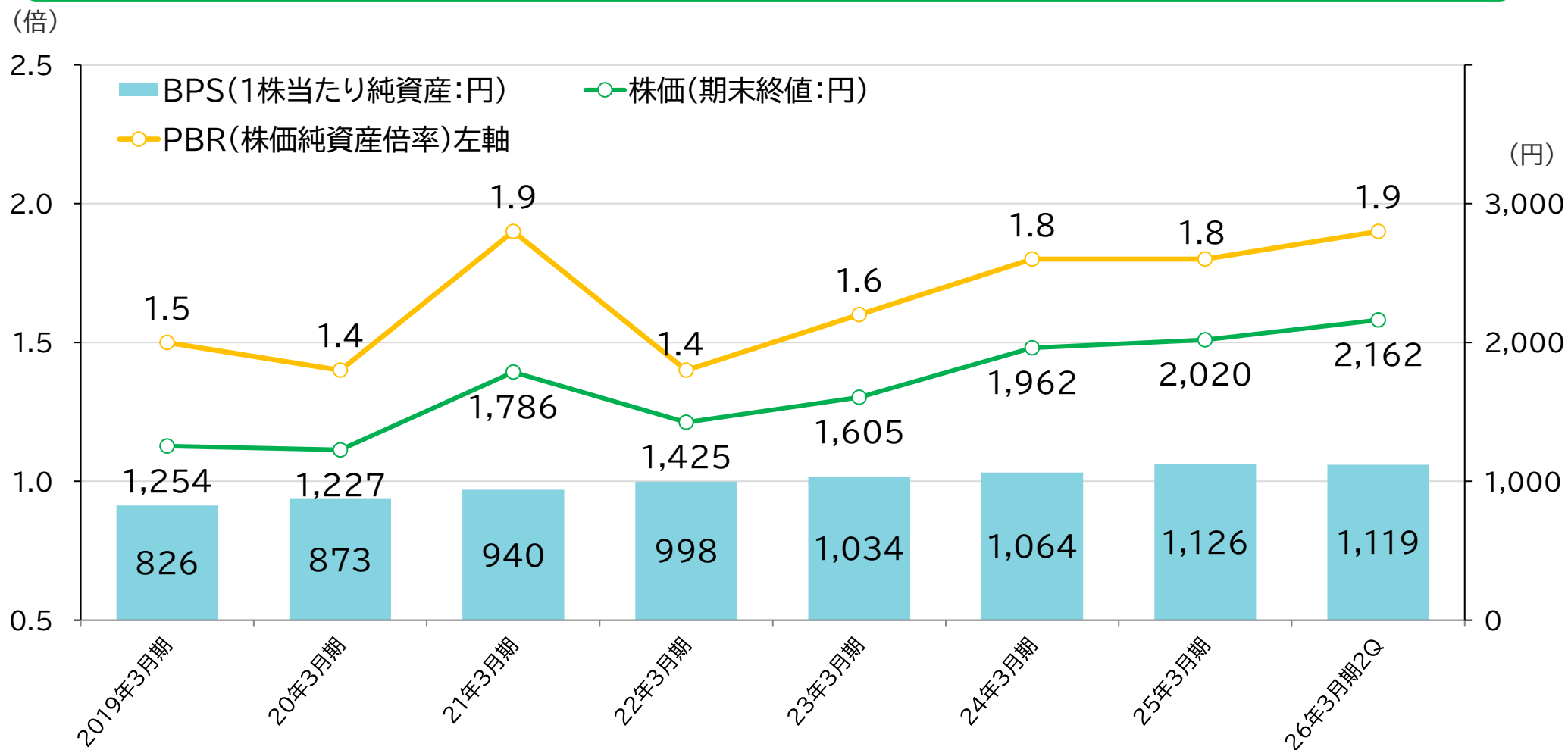
<参考> 経営指標の推移

ROEは、8%を超える水準で推移



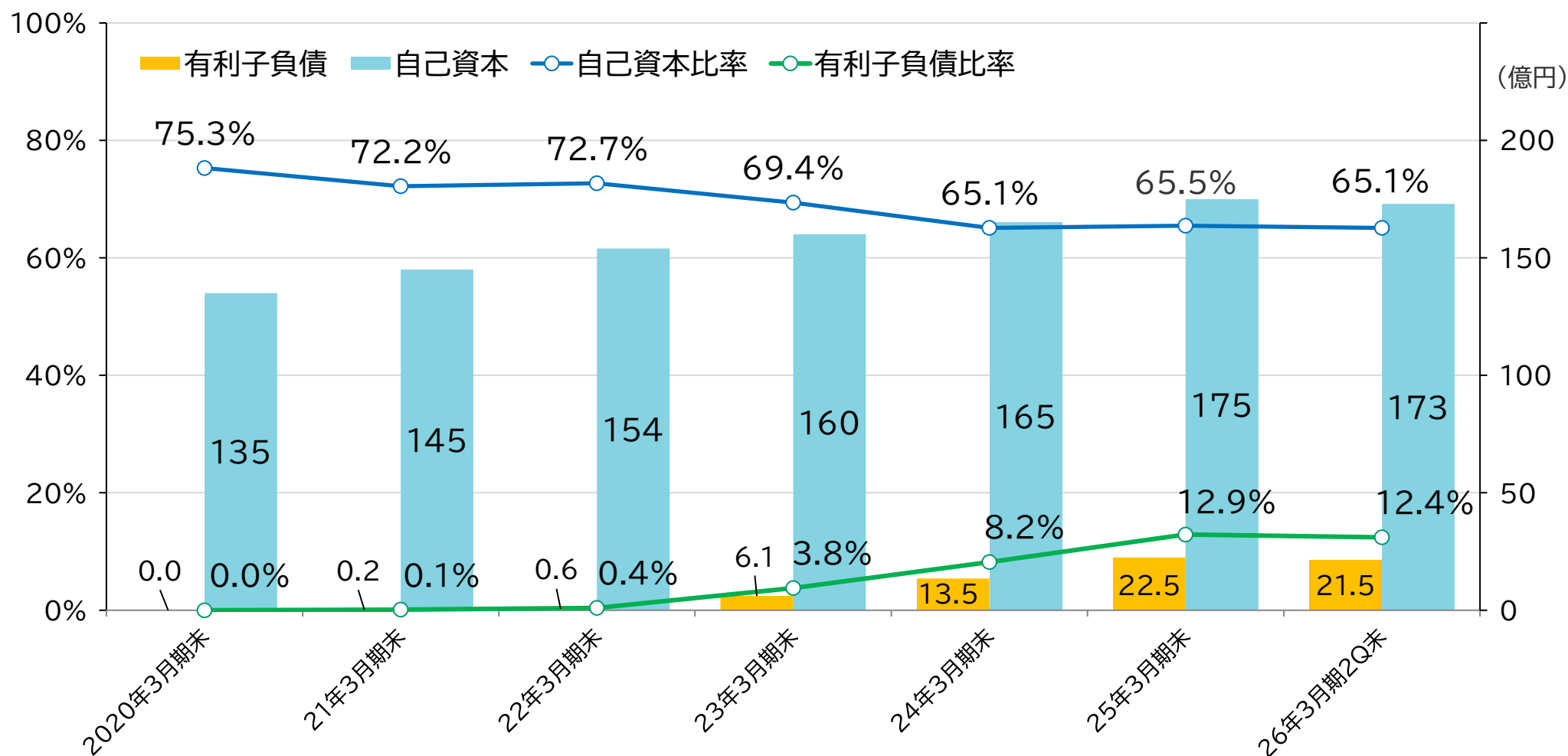
<参考> PBR・BPS・株価の推移

BPSは、利益の積み上がりにより増加傾向を維持



<参考> 自己資本比率・有利子負債比率の推移

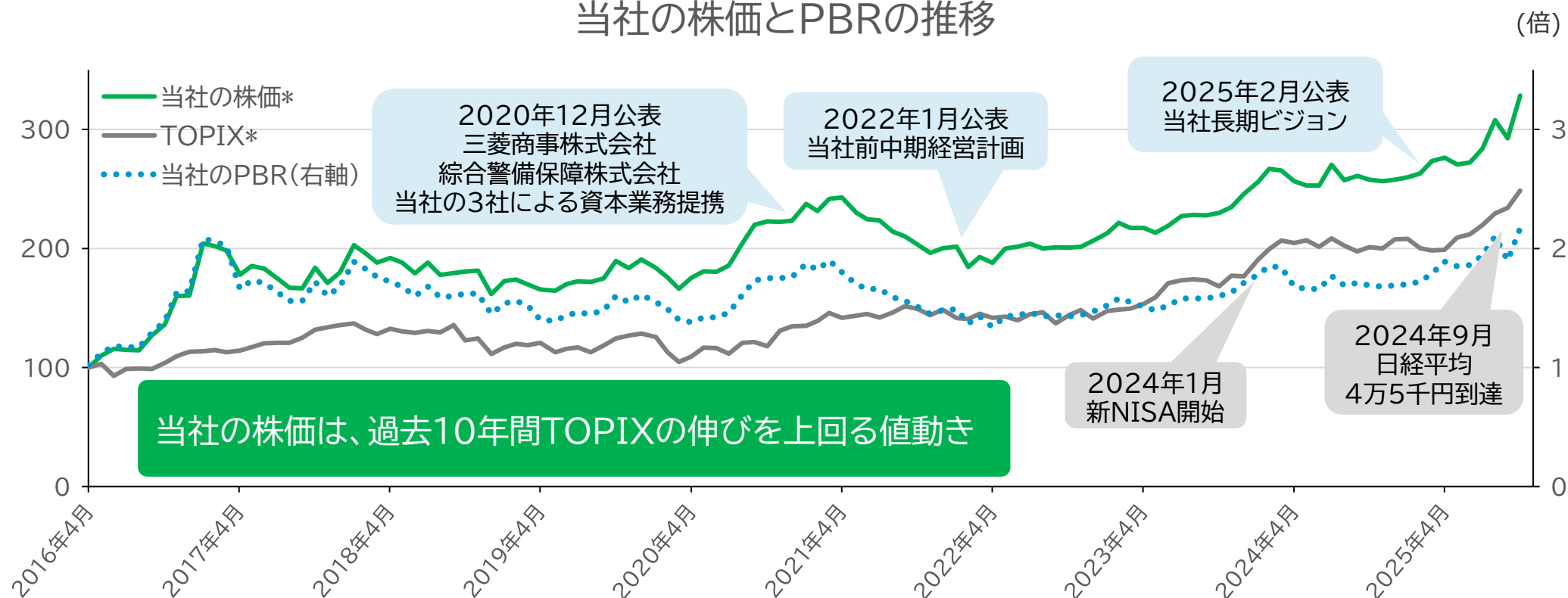
自己資本比率は、60%以上で推移
有利子負債は、営業キャッシュ・フローの改善により減少



<参考> 株価に関連した指標の推移

	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期 2Q
当社の 期末株価(円)	1,466	1,390	1,254	1,227	1,786	1,425	1,605	1,962	2,020	2,162
期末TOPIX	1,512.60	1,716.30	1,591.64	1,403.04	1,954.00	1,946.40	2,003.50	2,768.62	2,658.73	3,137.60
当社の 期末PBR(倍)	2.0	1.8	1.5	1.4	1.9	1.4	1.6	1.8	1.8	1.9

当社の株価とPBRの推移



*当社の株価とTOPIXは、2016年4月を「100」として指数化

本資料に関する注意事項

本資料に記載されている予想等は、現時点で入手可能な情報に基づいたものでありリスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社日本ケアサプライ
経営企画室 IR担当
TEL 03-5733-0381



健康長寿社会への貢献